

平成22年度岡山県立高等学校入学者選抜実施大要

岡山県教育委員会

[一般入学者選抜]

1 選抜の方針

選抜に当たっては、中学校等の校長から提出される調査書、学力検査・面接・実技の結果及び自己申告書等を資料として、各高等学校の科・コースの特色を配慮して総合的に判断する。

なお、高等学校長は、募集定員の一部について、学力検査の結果が一定以上にあれば、調査書、面接等の結果を重視して選抜を行うことができる。

調査書については、中学校等の教育の全領域にわたる成果を的確に判断するための資料として重視する。

学力については、調査書の「学習の記録」に記載された評定から求めた換算点と学力検査の結果から求めた合計得点とを基に、高等学校長が「調査書の評定段階」と「学力検査の評定段階」をそれぞれ定め、相関表を作成して判定する。調査書の換算点の算出においては、学力検査を実施しない教科を重視して取り扱う。

2 学力検査

(1) 対 象

ア 全日制課程

〔第 期〕 志願者全員

イ 定時制課程

〔第 期〕 昼間部を志願する者

〔第 期〕 夜間部を志願する者

(2) 実施教科

ア 全日制課程

〔第 期〕 国語、社会、数学、理科、外国語（英語）

イ 定時制課程

〔第 期〕 国語、社会、数学、理科、外国語（英語）から志願者が選択する 3 教科

〔第 期〕 国語、数学、外国語（英語）

(3) 出題の方針

ア 現行の中学校学習指導要領に示された目標及び内容の範囲内で出題する。ただし、数学及び理科については、中学校特例告示の規程を踏まえたものとする。

イ 出題に当たっては、各教科とも基礎的・基本的事項を中心とし、思考力、思考過程、応用力等をみる問題を含める。

(4) 問題の作成

岡山県教育委員会において作成する。ただし、高等学校長は、県教育委員会と協議の上、すべての教科又は一部の教科について問題を作成することができる。

3 面 接

次のいずれかに該当する志願者には、面接を実施する。

(1) 全日制課程のうち、次の学校・学科・コースを志願する者

ア 普通科のコース、専門学科及び総合学科

イ コースを除く普通科のうち、面接を必要と認める学校

(2) 定時制課程を志願する者

(3) 自己申告書を提出する者

4 実 技

(1) 玉野光南高等学校体育科において、一般入学者選抜を実施する場合は、志願者に実技を実施する。

(2) 検査内容 現行の中学校学習指導要領保健体育の体育分野に示された内容で基礎的なもの

5 第 2 次募集

一定数以上の欠員を生じている学校・科・コースにおいて、県教育委員会と高等学校長とが協議の上、実施する。

6 日 程

(1) 全日制課程

[第 期]

出願の期間	平成22年 2 月24日 (水) から 2 月26日 (金) まで
学 力 検 査	平成22年 3 月11日 (木)
面 接 ・ 実 技	平成22年 3 月12日 (金)
合格者の発表	平成22年 3 月19日 (金)

(2) 定時制課程

[第 期]

出願の期間	平成22年 2 月24日 (水) から 2 月26日 (金) まで
学 力 検 査	平成22年 3 月11日 (木)
面 接	平成22年 3 月12日 (金)
合格者の発表	平成22年 3 月19日 (金)

[第 期]

出願の期間	平成22年 3 月23日 (火) から 3 月25日 (木) まで
学 力 検 査 ・ 面 接	平成22年 3 月26日 (金)
合格者の発表	平成22年 3 月31日 (水)

7 くくり募集

二つ以上の科・コースで一括して生徒を募集する募集方法のことをいい、次に示す学校の科・コースの間で実施する。

東岡山工業高等学校	機械科と電子機械科と電気科
岡山東商業高等学校	ビジネス創造科と情報ビジネス科
倉敷商業高等学校	商業科と国際経済科と情報処理科
津山商業高等学校	地域ビジネス科と国際ビジネス科と情報ビジネス科
笠岡商業高等学校	商業科と情報処理科
総社高等学校	普通科と普通科自然探究コース
岡山一宮高等学校	普通科と理数科
西大寺高等学校	普通科と国際情報科
倉敷天城高等学校	普通科と理数科
玉島高等学校	普通科と理数科
津山高等学校	普通科と理数科

普通科と理数科及び普通科と国際情報科
では、選抜時に科の所属を決定する。

なお、倉敷天城高等学校理数科は、自己推薦による入学者選抜で合格内定者数が募集定員を満たさなかった場合に、一般入学者選抜を実施する。

[自己推薦による入学者選抜]

1 実施学校・科・コース・類型・分野
別表のとおりとする。

2 募集人員
別表に示す人員とする。

3 出願の条件
志願する当該科・コース・類型・分野に対して、興味・関心があり、能力・適性を有し、志願する動機・理由が明白、適切であること。

4 選抜の方針
選抜に当たっては、中学校等の校長から提出される調査書、志願理由書、面接及び高等学校長が定める適性検査の結果、自己申告書等を資料として、目的意識や適性等を重視し、各高等学校の科・コース・類型・分野の特色を配慮して総合的に判断する。

高等学校長は、実施科・コース・類型・分野ごとに調査書、志願理由書、面接・適性検査の結果等の選抜資料から把握できる内容の中で、選抜において重視する内容を明示する。

また、高等学校長は、募集人員の一部について、選抜において重視する実績を示すことができる。

5 面 接

(1) 対 象 志願者全員

(2) 内 容 志望の目的や適性等を把握する。必要に応じて簡単な口頭試問を行うことがある。

6 適性検査

各高等学校においては、志願者一人一人の能力や適性等をきめ細かく評価するために、科等の特色を踏まえた適性検査を実施することができる。

7 日 程

出願の期間 平成22年 1月29日（金）から 2月2日（火）まで

面接・適性検査 平成22年 2月9日（火）

ただし、学校によっては、2月9日（火）及び2月10日（水）の両日にわたって実施することがある。

選抜結果の通知 平成22年 2月17日（水）

合格者の発表 平成22年 3月19日（金）

8 合格内定とならなかった者の扱い

選抜の結果、合格内定とならなかった者は、改めて一般入学者選抜に出願することができる。

[海外帰国生徒の特別な入学者選抜]

1 実施学校・科

別表のとおりとする。

2 募集人員

各校とも若干名

3 出願資格

次のいずれにも該当する者とする。

(1) 原則として、外国における在住期間が継続して2年以上で帰国後2年以内であること。

(2) 保護者が県内に居住しているか、平成22年4月7日までに県内に居住予定であること。保護者が引き続き外国に居住する場合は、県内に保護者に代わる身元引受人が居住していること。

4 選抜の方針

選抜に当たっては、中学校等の校長から提出される調査書、自己申告書、面接の結果等を資料として、外国での学習や経験を適切に評価するよう配慮し、総合的に判断する。

5 面接等

(1) 対 象 志願者全員

(2) 内 容 能力や適性等を把握するため面接を実施する。必要に応じて簡単な口頭試問（英会話を含む。）を行うことがある。

また、学校によっては、聞き取り検査や作文等の適性検査を実施することがある。

6 日 程

出願の期間 平成22年 1月29日（金）から 2月2日（火）まで

面接等 平成22年 2月9日（火）

選抜結果の通知 平成22年 2月17日（水）

合格者の発表 平成22年 3月19日（金）

7 合格内定とならなかった者の扱い

[自己推薦による入学者選抜] 8に同じ。

[連携型中高一貫教育に係る入学者選抜]

1 実施学校・科

蒜山高等学校普通科

2 募集人員

別に定める募集定員を上限とする。

3 出願資格

真庭市立蒜山中学校を平成22年3月に卒業見込みの者

4 選抜の方針

選抜に当たっては、中高連携教育に係る学習のまとめ、面接・作文の結果等を資料として、目的意識や意欲等を重視して、総合的に判断する。

5 面接・作文

- (1) 対象 志願者全員
(2) 内容 志望の目的や意欲・適性等を把握するため、面接及び作文を実施する。
面接では、必要に応じて簡単な口頭試問を行うことがある。

6 日程

- 出願の期間 平成22年1月29日(金)から2月2日(火)まで
面接・作文 平成22年2月9日(火)
ただし、場合によっては、2月9日(火)及び2月10日(水)の両日にわたって実施することがある。
選抜結果の通知 平成22年2月17日(水)
合格者の発表 平成22年3月19日(金)

7 合格内定とならなかった者の扱い

[自己推薦による入学者選抜] 8に同じ。

[定時制課程の特別な入学者選抜]

1 実施学校・科

烏城高等学校普通科

2 募集人員

- (1) 昼間部 若干名
(2) 夜間部 若干名

3 出願資格・条件

次のいずれにも該当する者とする。

- (1) 平成2年4月1日以前に出生した者
(2) 定時制高等学校を志願する動機や理由が明白、適切であり、学ぶことに対して強い意欲を有すること。

4 選抜の方針

選抜に当たっては、面接・作文の結果等を資料として、目的意識や意欲等を重視して、総合的に判断する。

5 面接・作文

- (1) 対象 志願者全員
(2) 内容 志望の目的や意欲・適性等を把握するため、面接及び作文を実施する。
面接では、必要に応じて簡単な口頭試問を行うことがある。

6 日程

- 出願の期間 平成22年1月29日(金)から2月2日(火)まで
面接・作文 平成22年2月9日(火)
選抜結果の通知 平成22年2月17日(水)
合格者の発表 平成22年3月19日(金)

7 合格内定とならなかった者の扱い

[自己推薦による入学者選抜] 8に同じ。

[その他]

法令及びこの実施大要に定めるもののほか、必要な事項は、平成22年度岡山県立高等学校入学者選抜実施要項で定める。

(別表)

- ・募集人員欄の比率は、当該科・コースの募集定員に対する自己推薦による入学者選抜における募集人員の割合を表す。
岡山操山高等学校普通科については、募集定員から岡山操山中学校の岡山操山高等学校への進学者数を除いた人数に、当該比率を乗じた人数とする。
岡山城東高等学校普通科については、募集定員から音楽分野の募集人員25人を除いた人数に、当該比率を乗じた人数とする。
倉敷天城高等学校普通科及び理数科については、募集定員から倉敷天城中学校の倉敷天城高等学校普通科及び理数科への進学者数をそれぞれ除いた人数に、当該比率を乗じた人数とする。
津山東高等学校普通科については、募集定員から体育分野募集人員12人を除いた人数に、当該比率を乗じた人数とする。
総社南高等学校普通科については、募集定員から美術工芸系の募集人員20人を除いた人数に、当該比率を乗じた人数とする。
- ・適性検査欄の 印は、自己推薦による入学者選抜において適性検査を実施する科・コース・類型・分野を表す。
- ・特別選抜欄の 印は、海外帰国生徒の特別な入学者選抜を実施する科を表す。
- ・特別選抜欄の 印は、連携型中高一貫教育に係る入学者選抜を実施する科を表す。
- ・特別選抜欄の 印は、定時制課程の特別な入学者選抜を実施する科を表す。

学 校 名	科 名		募集人員	適性検査	特別選抜
	コース・類型・分野				
岡 山 朝 日	普	通	20%		
岡 山 操 山	普	通	20%		
岡 山 大 安 寺	普	通	20%		
岡 山 芳 泉	普	通	20%		
岡 山 一 宮	普	通	20%		
	理	数	50%		
岡 山 城 東	普	通	20%		
	音 楽	分 野	25人		
西 大 寺	普	通	20%		
	国 際	情 報	50%		
	商	業	50%		
瀬 戸	普	通	20%		
高 松 農 業	農 業	科 学	50%		
	園 芸	科 学	50%		
	畜 産	科 学	50%		
	農 業	土 木	50%		
	食 品	科 学	50%		
興 陽	農	業	50%		
	農 業	機 械	50%		
	造 園	デ ザ イン	50%		
	家	政	50%		
	被 服	デ ザ イン	50%		
瀬 戸 南	生 物	生 産	50%		
	園 芸	科 学	50%		
	生 活	デ ザ イン	50%		
岡 山 工 業	機 械		50%		
	電 気		50%		
	情 報	技 術	50%		
	化 学	工 学	50%		
	土 木		50%		
	建 築		50%		
	デ ザ イン		50%		

学 校 名	科 名		募集人員	適性検査	特別選抜
	コース・類型・分野				
東 岡 山 工 業	機 械		50%		
	電 子 機 械		50%		
	電 気		50%		
	設 備 シ ス テ ム		50%		
	工 業 化 学		50%		
岡 山 東 商 業	ビ ジ ネ ス 創 造		50%		
	情 報 ビ ジ ネ ス		50%		
岡 山 南	商 業		50%		
	国 際 経 済		50%		
	情 報 処 理		50%		
	生 活 創 造		50%		
	服 飾 デ ザ イン		50%		
岡 山 御 津	総 合 学 科		50%		
倉 敷 青 陵	普 通		20%		
倉 敷 天 城	普 通		20%		
	理 数		100%		
倉 敷 南	普 通		20%		
倉 敷 古 城 池	普 通		20%		
倉 敷 中 央	普 通		20%		
	人 間 探 究 コ ー ス		50%		
	家 政		50%		
	看 護		50%		
	福 祉		50%		
玉 島	普 通		20%		
	理 数		50%		
倉 敷 鷺 羽	未 来 創 造		50%		
倉 敷 工 業	機 械		50%		
	電 子 機 械		50%		
	電 気		50%		
	工 業 化 学		50%		
	フ ァ ッ シ ョ ン 技 術		50%		
	建 築		50%		
水 島 工 業	機 械		50%		
	電 気		50%		
	情 報 技 術		50%		
	工 業 化 学		50%		
	建 築		50%		

学 校 名	科 名	募集人員	適性検査	特別選抜
	コース・類型・分野			
倉敷商業	商 業	50%		
	国 際 経 済	50%		
	情 報 処 理	50%		
玉島商業	ビジネス情報	50%		
津山	普 通	20%		
	理 数	50%		
津山東	普 通	20%		
	体 育 分 野	12人		
	食 物 調 理	50%		
	看 護	50%		
津山工業	機 械	50%		
	電 子 機 械	50%		
	電 気	50%		
	工 業 化 学	50%		
	土 木	50%		
	建 築	50%		
	デ ザ イ ン	50%		
津山商業	地域ビジネス	50%		
	国際ビジネス	50%		
	情報ビジネス	50%		
玉野	普 通	20%		
玉野光南	普 通	20%		
	情 報	50%		
	体 育	100%		
笠岡	普 通	20%		
笠岡工業	電 子 機 械	50%		
	電 気 情 報	50%		
	環 境 土 木	50%		
笠岡商業	商 業	50%		
	情 報 処 理	50%		
井原	普 通	20%		
	園 芸	50%		
	家 政	50%		
総社	普 通	20%		
	自然探究コース	50%		
	家 政	50%		

学 校 名	科 名	募集人員	適性検査	特別選抜
	コース・類型・分野			
総社南	普 通	20%		
	美 術 工 芸 系	20人		
高梁	普 通	20%		
	家 政	50%		
高梁城南	電 気	50%		
	デ ザ イ ン	50%		
	総 合 情 報	50%		
	環 境 科 学	50%		
新見	普 通	20%		
	生 物 生 産	50%		
	工 業 技 術	50%		
	総 合 ビ ジ ネ ス	50%		
備前緑陽	総合学科	50%		
邑久	普 通	20%		
勝山	普 通	20%		
	商 業	40%		
落合	普 通	20%		
	看 護	50%		
蒜山	普 通	20%		
久世	生 物 生 産	40%		
	食 品 科 学	40%		
	家 政	40%		
林野	普 通	20%		
鴨方	総 合 学 科	50%		
和気閑谷	普 通	20%		
	キ ャ リ ア 探 求	50%		
矢掛	普 通	35%		
勝間田	総 合 学 科	50%		
	グ リ ー ン 環 境	50%		
	食 品 科 学	50%		
鳥城	産 業 工 学	50%		
	普 通 (昼 間 部)	20人		
	普 通 (夜 間 部)	10人		